



## だ うが 雨垂れ石を穿つ

夢の実現を目指して日々の努力を!

中国の歴史書「漢書」の枚乗伝の章に「泰山之雷穿石(泰山の雷(あまだれ)石を穿つ)」という言葉があります。「雨垂れ」というのは、屋根や軒先からしたたり落ちる雨のしずくのことです。

「石を穿つ」の「穿つ」とは、穴をあけるとか、突き抜けるという意味で、「石に穴をあける」という意味になります。軒先からぽたぽた落ちる雨のしずくのような小さなしずくでも、長い間ずっと同じところに落ち続けると、硬い石に穴をあけてしまうことがあるということです。

このことから、どんなに小さな力でも、根気よく続けていればいつか大きな成果が得られるということを表しています。

私の中学校時代の担任先生がよく話していた故事成語で、今でも座右の銘にしています。

さて、3年生は、7月6日(木)に共通プレテスト、7日(金)に進路学習会を行いました。

各高等学校ではオープンキャンパスが夏休みからスタートです。

3年生の皆さんには「雨垂れ石を穿つ」の努力で夢の実現を目指してほしいです。



1・2年生の皆さんについては、来年・再来年

を見据えての努力になります。今は規則正しい生活習慣の確立と授業の予習・復習を「雨垂れ石を穿つ」の努力を行うことが夢の実現につながるのではないのでしょうか。

なお、家庭訪問の中止に伴い、7月10日(月)から教育相談を全学年(3年生は3者教育相談)で実施します。夢の実現に向けて、良い機会として活用をお願いします。

皆さんの頑張りを期待しています!



## 幼保小中連携の日

7月5日(水)に北部中校区の幼稚園・保育園・小学校の先生に来校いただき、授業参観及び情報交換会を行いました。

総合的な学習の時間の授業参観では、1年生が「熊本の未来につながるSDGsを考えよう」のテーマでタブレット端末を活用して調べたことをまとめる場面の授業でした。

また、2・3年生は北部SDGsの授業で生徒会の委員会10コースごとに分かれて「SDGsの視点で身の回りの課題を解決(改善)しよう」のテーマで課題解決(改善)に必要な情報を収集する場面の授業でした。

小学校の先生から、大きくなった中学生の姿を「遅くなりましたね。」「仲良く一生懸命に探究する姿が素晴らしかったです。」「電話でしっかりアポが取りできていました。」などお褒めの言葉をたくさんいただきました。

保護者・地域・そして、今までお世話になったたくさんの先生は、北部中生の皆さんの頑張りがうれしく、いつまでも応援していきたいと思っています。

しっかり学んで自分を成長させてください。

## 命と健康を考えた行動を!

今週は大雨による安全確認やインフルエンザ等の感染症拡大に関する注意喚起を行いました。

生徒の皆さんが安心・安全に生活できるように学校と家庭の連携、命と健康を考えた適切な行動をよろしくをお願いします。